



# 2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年2月14日

上場会社名 アズマハウス株式会社  
コード番号 3293 URL <https://azumahouse.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 東 行男

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 真川 幸範

TEL 073-475-1018

四半期報告書提出予定日 2023年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	10,265	0.5	881	4.8	850	5.3	575	0.2
2022年3月期第3四半期	10,216	1.8	925	8.3	898	10.2	576	3.7

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 623百万円 (4.7%) 2022年3月期第3四半期 595百万円 (1.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	71.82	71.70
2022年3月期第3四半期	71.78	71.66

(注) 当社は、2022年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	31,080	16,005	51.5
2022年3月期	31,326	15,800	50.4

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 16,005百万円 2022年3月期 15,800百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		70.00	70.00
2023年3月期		17.50			
2023年3月期(予想)				17.50	35.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は、2022年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2022年3月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。2023年3月期第2四半期末及び2023年3月期(予想)の配当金については、当該株式分割後の配当金の額を記載しております。

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,650	5.3	1,220	2.3	1,190	1.2	778	2.9	96.84

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は、2022年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、当該株式分割後の株式数により、「1株当たり当期純利益」を算定しております。

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	8,063,400 株	2022年3月期	8,063,400 株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	25,234 株	2022年3月期	29,256 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	8,011,136 株	2022年3月期3Q	8,034,144 株

(注)当社は、2022年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。  
これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報をもとに作成しており、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は、2023年2月14日に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、ウィズコロナの下で各種政策の効果により景気回復が期待されておりますが、ロシア・ウクライナ情勢の長期化、原材料の価格高騰に加え、為替相場の変動など、依然として不安定な状況が続いております。

当社グループの不動産・建設事業においては、「こどもみらい住宅支援事業」などの住宅支援策に支えられる中、顧客ニーズを徹底的に追及し、営業活動に取り組むと共に、工程管理、原価管理および品質管理を徹底し、新規契約の獲得、利益確保に努めてまいりました。

不動産賃貸事業においては、当社グループが保有する自社物件及び管理物件の安定的な収益を維持しつつ、更に、アライアンスの強化および拡大を図り、新規顧客の獲得および管理サービスの充実を図ることで利益確保に努めてまいりました。

土地有効活用事業においては、不動産賃貸事業との事業間シナジー効果を十分活用し、安定的な賃貸経営の事業提案を行ってまいりました。

ホテル事業においては、感染症流行前の水準までの回復には至りませんでした。感染防止対策の徹底を行いつつ、商品やサービスの見直し、品質の向上と原価管理を行った結果、売上高、セグメント利益の増加となりました。

このような環境の中、当社グループは、「より大切に、より迅速に、全てはお客様のために」をモットーに、商品の品質、性能、お客様への対応、サービス向上は無限と考え、徹底してこだわり、顧客満足度No. 1企業を目指し、企業価値の最大化を図ってまいりました。また、お客様及び従業員の安全を最優先事項と捉え、感染症防止対策を講じてまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高は10,265百万円（前年同期比0.5%増）、経常利益は850百万円（前年同期比5.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は575百万円（前年同期比0.2%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ246百万円減少し、31,080百万円となりました。

流動資産については、前連結会計年度末に比べ358百万円減少し、10,161百万円となりました。固定資産については、前連結会計年度末に比べ111百万円増加し、20,918百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ450百万円減少し、15,075百万円となりました。

流動負債については、前連結会計年度末に比べ988百万円減少し、4,023百万円となりました。固定負債については、前連結会計年度末に比べ537百万円増加し、11,052百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ204百万円増加し、16,005百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績予想につきましては、2022年5月13日付「2022年3月期決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,032,495	4,045,249
売掛金	30,953	38,911
販売用不動産	3,975,018	4,340,019
未成工事支出金	903,179	1,279,564
貯蔵品	9,550	12,592
その他	571,320	447,820
貸倒引当金	△2,720	△2,526
流動資産合計	10,519,796	10,161,630
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,012,791	5,891,401
土地	13,582,424	13,550,206
その他（純額）	134,466	286,637
有形固定資産合計	19,729,683	19,728,246
無形固定資産		
のれん	341,029	313,099
その他	47,390	45,870
無形固定資産合計	388,420	358,970
投資その他の資産	688,900	831,311
固定資産合計	20,807,003	20,918,527
資産合計	31,326,800	31,080,158

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	15,656	19,329
工事未払金	521,894	612,977
短期借入金	1,627,951	207,400
1年内償還予定の社債	-	40,000
1年内返済予定の長期借入金	1,865,982	2,343,489
未払法人税等	223,921	77,269
賞与引当金	67,744	69,705
その他	688,379	652,891
流動負債合計	5,011,529	4,023,063
固定負債		
社債	250,000	410,000
長期借入金	9,642,045	10,061,077
資産除去債務	76,417	77,625
繰延税金負債	18,164	16,037
その他	527,828	487,326
固定負債合計	10,514,456	11,052,067
負債合計	15,525,985	15,075,130
純資産の部		
株主資本		
資本金	596,763	596,763
資本剰余金	536,445	536,637
利益剰余金	14,643,746	14,798,481
自己株式	△19,518	△18,302
株主資本合計	15,757,436	15,913,579
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	43,377	91,448
その他の包括利益累計額合計	43,377	91,448
純資産合計	15,800,814	16,005,028
負債純資産合計	31,326,800	31,080,158

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	10,216,880	10,265,953
売上原価	6,820,169	6,818,562
売上総利益	3,396,710	3,447,390
販売費及び一般管理費	2,471,447	2,566,351
営業利益	925,263	881,039
営業外収益		
受取利息	270	214
受取配当金	11,568	13,189
受取手数料	45,571	42,203
解約金収入	7,292	7,494
受取補助金	18,470	10,153
その他	26,817	24,597
営業外収益合計	109,991	97,851
営業外費用		
支払利息	129,903	119,053
その他	7,005	9,475
営業外費用合計	136,909	128,529
経常利益	898,345	850,361
特別利益		
固定資産売却益	-	233
特別利益合計	-	233
特別損失		
減損損失	-	777
固定資産除却損	1,426	0
特別損失合計	1,426	777
税金等調整前四半期純利益	896,919	849,817
法人税、住民税及び事業税	290,047	265,080
法人税等調整額	16,389	9,373
法人税等合計	306,436	274,454
四半期純利益	590,482	575,363
非支配株主に帰属する四半期純利益	13,802	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	576,680	575,363

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	590,482	575,363
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,810	48,071
その他の包括利益合計	4,810	48,071
四半期包括利益	595,292	623,435
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	581,490	623,435
非支配株主に係る四半期包括利益	13,802	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年8月10日開催の取締役会決議に基づき、自己株式66,500株の取得を行ったことで、自己株式が49,932千円増加しました。また、2022年11月16日開催の取締役会決議に基づき、自己株式70,522株の処分を行ったことで、自己株式が51,340千円減少しました。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(重要な会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症に関する主要な仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント					その他	合計
	不動産・ 建設事業	不動産 賃貸事業	土地有効 活用事業	ホテル事業	計		
減損損失	—	777	—	—	777	—	777

(重要な後発事象)

該当事項はありません。